

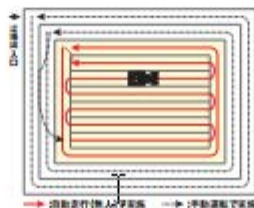
それは、農業を未来へと導くテクノロジー。



最先端の技術を集約し 自動運転作業を実現。

スラッガー-SL60をベースに、RTK-GPSユニットや安全装置などを搭載したアグリロボ。オペレータが乗車しなくても自動でロータリ耕うんと代かき作業が行えます。

圃場外にRTK-GPS基地局を設置し、トラクタに乗車して圃場最外周を走行して圃場マップを作成。機軸の経路から最適経路を選択し、エンジン回転、車速、耕深、作業機昇降などを設定して降車、リモコン操作で発進します。無人機による単独作業だけでなく、有人機と2台で耕うん、代かきを同時に行うなど、さらに効率的な作業も可能です。



安全に配慮した自動走行停止。

自動走行モード時に作動。トラクタの各機軸センサーが障害物を感知すると自動走行を停止し、またトラクタ基地局付近でエンジン停止とされたら、基地局が復旧したときにも、安全に配慮して停止します。

タッチ操作が可能な7インチのターミナルモニタ。

自動走行に必要な各種設定をこのモニタで設定できます。自動走行トラクタ2台協調作業には、無人機の設定(車速、エンジン回転数、耕深)を有人機のターミナルモニタで行えます。



4台の周視確認カメラを搭載。有人機の監視モニタまたはタブレット端末(別売)で確認。

アウターフェース側のカメラを駆使、トラクタの周囲の映像を、有人機の監視モニタまたはタブレット端末(別売)で確認できます。



オートステア機能。

直進時のハンドル操作はトラクタに任せ、本機操作でもよび回り、肥料撒布などの作業が精度よく行えます。